

いざという時に備えて

親子で学ぶ地震防災訓練

参加体験型の学習を通して子どもたちに防災の知識を深めてもらおうと10月17日、親子で学ぶ地震防災訓練が南部小学校で行われました。訓練には児童とその保護者・祖父母など、およそ800人が参加。震度7の揺れを起こす起震車体験や救助袋体験、担架の作り方など、さまざまな訓練を実施しました。応急手当講座で包帯作りを学んだ児童の一人は「万一災害が起こってけがをした人がいたら、防災意識を高めていたいです」と今日の訓練を役立てたいです」と



支えあう気持ちが大事

総合福祉フェスタ

保健・医療・福祉・生きがいをひとつの総合福祉を推進するため10月4日、総合福祉フェスティバルがサンアートで開催されました。車いすや点字体験、健康づくりの紹介、人権映画鑑賞会など、さまざまなイベントが行われたこの催し。アイマスクをつけて歩行体験をした小学生は「何も見えなくて怖かったけれど、手を引いてもらえてとても安心できた。みんなが安心して暮らすために、支えあう気持ちが大事」と福祉の大切さを実感している様子でした。



秋の花見を楽しむ

ソメイヨシノが開花

福田地内の石河真昭さん宅にあるソメイヨシノが、9月中旬ころから開花し始め、10月に入り見ごろを迎えるました。40年ほど前に、石河さんのご両親の結婚記念で植えたといふこの桜。秋も深まるこの季節に、これだけたくさんの花が咲いたのは初めてのことです。だんだん寒くなるなか、次々とつぼみをつける桜を前に石河さんは「秋に咲く桜も風情があっていいですね。まだまだ咲きそうなので、秋の花見が楽しめるかも知れません」と笑顔で話していました。



とても清潔で安心

学校給食センター見学会

食の安全と大切さ、そして食材の選び方を学習する「食の教育」の拠点として3月にオープンした学校給食センター。この施設見学会が10月9日に行われました。はじめ水越鈴雄所長が、施設の概要や調理過程を説明。続いて参加者たちは、実際に給食を調理する様子を見学しました。小学生の子どもいる女性は「調理方法や保存方法がとても適正。何より調理場が清潔なので、これなら子どもたちが安心して給食を食べられます」と感心した様子でした。



威勢のいい掛け声とともに

天王神社秋の例大祭

三好町の秋の風物詩「天王神社秋の例大祭」が10月5日、新屋地内で行われました。五穀豊穫を祝て山車を奉納するこの祭りは、江戸時代から伝わる伝統行事。さわやかな秋空のもと、法被を身にまとった男衆の威勢のいい掛け声に合わせ、山車が勇ましくひき回されました。夜には280個の提灯が山車に飾られ、祭りは最高潮に。見物に訪れた人は「山車に提灯がともると、本当に美しいですね」と秋の夜に浮かぶ提灯の幻想的な様子に酔いました。



異文化に触れて

ハロウィーンパーティー

10月31日は秋の収穫を祝い、悪霊を追い払う欧米の祭り「ハロウィン」が行われる日です。こうした海外の行事を体験することで、子どもたちに異文化に触れてもらうおと10月6日、天王保育園でハロウィーンパーティーでは町内の小中学校の語学指導をしているティム先生をゲストに迎え、ハロウィーンにちなんだ歌やゲームを実施。手作りのかぼちゃのお面をつけた子どもたちは、ティム先生と一緒にハロウィーンを楽しんでいました。

